A

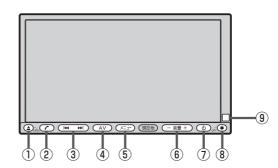
基本操作／共通

HS310D-A
HS310D-W
HS310-A
HS310-W

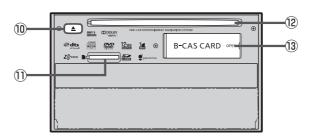
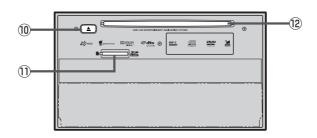
各部の名称とはたらき

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

パネル部(CLOSE状態)

HS310D-A
HS310-A

HS310D-W
HS310-W

パネル部(OPEN状態)

HS310D-A
HS310D-W

HS310-A
HS310-W

① [▲] ボタン(OPEN)
パネルをオープンさせて、ディスクやSDカード／B-CASカードを出し入れするときに使用します。
・ディスク ☞ A-6
・SDカード ☞ A-6
・B-CASカード ☞ J-59

② [電話] ボタン(電話)
ハンズフリー MENU画面を表示します。
☞ M-5
※ハンズフリーMENU画面はシステム設定画面からも表示させることができます。☞ 別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)G-2

③ [⏮ ⏭] ボタン／[⏮] [⏭] ボタン
● 好きな曲／ファイル／チャプター／放送局を選びます。
・CD／MP3／WMA／SD／iPod／MUSIC STOCKER／Bluetooth Audio ☞ A-10
・FM／AM ☞ C-4
・TV ☞ J-16、K-16
・DVD ☞ I-7
● 長押しすると早戻し／早送り／自動選局を行ないます。
・CD／DVD／MP3／WMA／SD／iPod／MUSIC STOCKER／Bluetooth Audio ☞ A-11
・FM／AM ☞ C-4
・TV ☞ J-16、K-16
● 一時停止中にコマ戻し／コマ送り／スロー戻し／スロー送りを行ないます。
・DVD ☞ I-8

④ [AV] ボタン
AV SOURCE画面を表示します。
☞ A-9
※ナビゲーション画面／オーディオ画面から他のオーディオ画面を表示させる(モードの切り替えをする)ときに使用します。

⑤ [メニュー] ボタン
● AV MENU画面を表示します。
☞ A-8、23、25、E-2、10、15、19
● 長押しすると画面調整画面が表示されます。
☞ A-19、A-22
● DVDモードの場合、押すたびに
→ 操作ボタン有 → AV MENU画面 → 操作ボタン無 →
を繰り返します。

⑥ [－ 音量 ＋] ボタン／[＋] [－] ボタン
オーディオの音量を調整します。☞ A-16

⑦ [⏻] ボタン(AV電源)
● AV電源をON／OFFするときに使用します。
☞ A-7
● 2秒以上長押しで画面を消します。
☞ A-18

⑧ [✱] ボタン(オプション)
☞ 別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)G-3

⑨ リモコン受光部
別売のリモコンを使用してDVDの操作などをすることができます。
☞ 別売のリモコン
別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)H-46

⑩ [▲] ボタン(DVD／CDイジェクト)
ディスクを取り出すときに使用します。
☞ A-6

⑪ SDカード挿入口
☞ A-6

⑫ ディスク挿入口
☞ A-6

⑬ B-CASカード挿入口
ゴムカバーを開けると挿入口があらわれます。
12セグを使用する場合はB-CASカードを挿入します。
☞ J-59

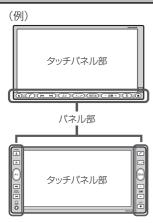
⑭ AUX端子
市販のポータブルオーディオ機器を接続します。
☞ L-3

アドバイス

画面に表示されるタッチパネル部のボタンにつきましては各々を参照ください。
・CD／MP3／WMA ☞ B-2
・SD ☞ F-2
・DVD ☞ I-2
・MUSIC STOCKER ☞ D-2
・iPod ☞ G-5
・TV ☞ J-4、K-3
・FM／AM ☞ C-2
・Bluetooth Audio ☞ H-12

基本操作(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

(例)

本書では、
タッチパネル部のボタンは"ボタンをタッチ"、
パネル部のボタンは"ボタンを押す"と記載しています。

※本書のマークについて

アドバイス … 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。

…………………… 画面上でタッチパネル操作を表します。

■/□…………… 操作手順が次のステップでわかれるときの案内をします。

:…………………… 操作上で操作を行なった結果を説明します。

● パネル部の詳細につきましては A-2を参照ください。

● ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。

● オーディオ画面とはCD/DVD/MP3/WMA/FM/AM/SD/iPod/MUSIC STOCKER/Bluetooth Audio/TV/VTR/AUX☆モード時を示します。
※iPodビデオと記載している場合は映像データを表します。

☆印…HS310D-W/HS310-Wの場合

各モードを選択する

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、A-5手順 2 へ進んでください。

車のキースイッチを「ACC」または「ON」に入れる。

:起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)B-4を参照してください。

起動初期画面

SDモード画面(例)

⚠注意 「ACC」(エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2

AV を押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。ラストモード画面から他のモードに変えたい場合はもう一度 AV を押してAV SOURCE画面を表示させてください。

＊印…前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は挿入または接続してください。
☞ A–6、L–3

アドバイス

✱(オプション)にAVソース選択を設定している場合は、このボタンを押してAV SOURCE画面を表示させることができます。
☞ 別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)G–3

3

操作したいモード(CD／DVD ／ FM ／ AM ／ SD ／ iPod ／ MUSIC STOCKER ／ Bluetooth Audio ／ TV ／ VTR ／ AUX ☆)をタッチする。

☆印…HS310D-W／HS310-Wの場合

：選択したそれぞれのモード画面が表示されます。

※ご希望の操作を行なってください。☞ 1ページ

AV SOURCE画面(下記)に表示されるモードボタン(各機能)は型式によって異なります。また、各ボタンの詳細につきましては☞ A–9を参照ください。

AV SOURCE画面

HS310D-A／HS310-A

HS310D-W／HS310-W

■ **操作したいモード画面が表示された場合**

① **☞ 1ページに記載の項目をご覧いただき、ご希望の操作を行なってください。**

※音楽再生をしていた場合は前回のつづきから再生を始めます。

基本操作(2)

映像の表示について

> ⚠ 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※映像を表示するモードはDVD／TV／VTR／iPodビデオとなります。

DVDモード画面(走行中)(例)

ディスクを入れる／取り出す

1 [▲](OPEN)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

---

2 ディスクを入れる／取り出す。

■ **ディスクを入れる場合**

① **ディスク挿入口にディスクを挿入する。**

：自動でディスプレイが閉じ、再生を始めます。

※未録音の音楽CDを挿入した場合は録音を開始します。☞ B-4

■ **ディスクを取り出す場合**

① [▲](DVD／CDイジェクト)を押す。

：ディスクがディスク挿入口より出てきます。

アドバイス

- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
- DVDディスクを取り出して再度再生を始めるとリジューム再生(つづきから再生)を行ないます。
- 再生中に車のキースイッチを変更した場合は、次にACCをONにすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
- [▲](DVD/CDイジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生が開始されます。

SDカードを入れる／取り出す

[▲](OPEN)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

---

2 SDカードを入れる／取り出す。

■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じます。

※SDモードを選択している場合は再生を始めます。

■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

アドバイス

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)して取り出してください。

オーディオをOFFする

1 ⏻ (AV電源)を押す。

：画面に"OFF"と表示されオーディオの各モードを終了します。
もう一度押すと、AV電源をONします。

※前回、音楽またはDVDを再生していた場合はつづきから再生を始めます。
(Bluetooth Audioモードの場合は ▶ をタッチすると再生を始めます。☞H-14)

アドバイス

- 録音中の場合、CDモードを終了しても(再生を止めても)録音は継続されます。
- Bluetooth Audioモードの場合、ポータブルオーディオ機器の仕様によっては、AV OFF／車のキースイッチをOFFにしても、再生を継続するものもあります。電池の消費などが気になる場合には、手動で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

設定の保持について

決定 のある画面では、決定 をタッチすると設定が保持されます。
決定 をタッチしないで 戻る をタッチまたは メニュー ／ 現在地 を押すと設定は保持されません。
※ 決定 のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。
(例：映像／オーディオ調整など)

ページのスクロールについて

次ページがある場合、▲／▼タッチでページのスクロール(戻し／送り)表示することができます。

AV MENU画面について

AV MENU画面は選択するボタン(AUDIO設定 ／ システム設定)によって
AUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

AUDIO設定のAV MENU画面

システム設定のAV MENU画面

※ AV MENUは最終選択時の状態を保持するため、状態によっては AUDIO設定 または システム設定 選択の操作は省略することができます。

※ システム設定 選択時に表示されるAV MENUの各機能につきましては☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)「システム設定」G–1を参照ください。

AV SOURCE画面のモードボタンについて

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

AV SOURCE画面

HS310D-A／HS310-A

HS310D-W／HS310-W

選択可能モードはモードをあらわす文字が白色表示

選択不可能モードはモードをあらわす文字が灰色表示

＊1印…＊2のとき、一度他のモードにすると選択不可（＊1の状態）となります。

※SDカード未挿入／Bluetooth Audio未登録の場合、それぞれのモードでメッセージが表示されます。
※モードボタンの色合いはメニュー配色の設定より変更できます。☞A-22

● CD／DVD表示について

CD/DVD モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

CD／DVD未挿入時＊1

ディスク再生中にディスクを抜いたとき＊2

DVDディスクを挿入し再生時

アドバイス

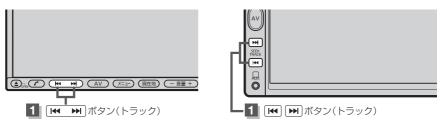
- CD/DVD は挿入したディスクによって CD 、 DVD と表示が変わります。
- SDモードを使用するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。
- iPodモードを使用するには付属のiPod用接続ケーブルに本機とiPodを接続しておく必要があります。
  ☞G-4
- Bluetooth Audioモードを使用するには初期登録をしておく必要があります。
  ☞H-4

パネル部のボタンで選曲する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

操作パネル上のボタンを押して1曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

1 ⏮ ⏭ ／ ⏮ ⏭ (トラック*1)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

■ **前のトラックに戻る場合**

⏮ を2回押す。*2

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ **次のトラックに進む場合**

⏭ を押す。

アドバイス

- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
  - ・CD／MP3／WMA ☞ B-5
  - ・SD ☞ F-4
  - ・iPod ☞ G-7
  - ・MUSIC STOCKER ☞ D-4
- 音楽CD録音(REC)中トラックを戻す／進めることは操作できません。
- ＊1印…FM／AM／TVモードでは選局、DVDモードではスキップと呼び名を変えています。
  - ・FM／AM ☞ C-4
  - ・TV ☞ J-16、K-12
  - ・DVD ☞ I-7
- ＊2印…トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。
- Bluetooth Audioモードのとき、ポータブルオーディオ機器の仕様によっては操作したときの動作が異なる場合や、操作できない場合があります。

早戻し／早送りをする

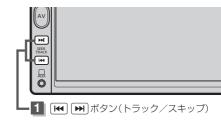
HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

1 ⏮ ⏭ ／ ⏮ ⏭ (トラック／スキップ)を押し続ける。

：早戻し／早送りをします。

※DVDモードの場合、通常の6倍の速さでの早戻し／早送りをします。

1 ⏮ ⏭ ボタン(トラック／スキップ)

1 ⏮ ⏭ ボタン(トラック／スキップ)

■ 早戻しで戻る場合

⏮ を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ を押し続ける。

再生状態表示
▶ ：通常再生
▶▶ ：早送り
◀◀ ：早戻し

音楽再生の場合(例)

アドバイス

- それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。
- 音楽CD録音(REC)中の早戻し／早送りはできません。
- Bluetooth Audioモードのとき、ポータブルオーディオ機器の仕様によっては操作したときの動作が異なる場合や、操作できない場合があります。また、早戻し／早送り中に再生時間表示が変化しない、正しい時間を表示しない場合があります。
- FM／AM／TVモードのときに押し続けると自動選局を開始します。
  - ・FM／AM ☞ C–4
  - ・TV ☞ J–16、K–12

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

1

再生モード をタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

SDモード TOP画面(例)

手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。

2

再生したいモード(リピート ／ ランダム ／ スキャン ／ シャッフル)を選択する。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート をタッチする。**

：表示灯点灯し、リピート再生されます。

※ リピート ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

CD／SD／iPod／MUSIC STOCKERの場合

今聞いているトラックのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
マーク表示有)

⬇

通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAの場合

今聞いているトラックのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)

⬇

今聞いているフォルダのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
REPEAT FOLDER マーク表示有)

⬇

通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム をタッチする。**

：表示灯点灯し、ランダム再生されます。

※ ランダム をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

CDの場合

ディスク内の曲をランダム再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
RANDOM マーク表示有)

⬇

通常再生(ランダム解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAの場合

選曲中フォルダ内の曲をランダム再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
 マーク表示有)

⬇

通常再生(ランダム解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

SD／MUSIC STOCKERの場合

今聞いているリストの中からランダム再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
 マーク表示有)

⬇

通常再生(ランダム解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** をタッチする。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

CD／MP3／WMAの場合

ディスク内の曲をスキャン再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
 SCAN マーク表示有)
↓
通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

SD／MUSIC STOCKERの場合

今聞いているリストの中からスキャン再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
 SCAN マーク表示有)
↓
通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※iPodモードのみ

① **シャッフル** をタッチする。

：表示灯点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

今聞いているリストの中からシャッフル再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
 SHUFFLE TRACK マーク表示有)
↓
今聞いているリストをアルバムごとにシャッフル再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
 SHUFFLE ALBUM マーク表示有)
↓
通常再生(シャッフル解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため、同じ曲が連続で再生されることがあります。

3 設定を終えるには、閉じる をタッチする。

：選択中モードのTOP画面に戻ります。

アドバイス

- 録音(REC)中は操作できません。
- マーク表示中はそれぞれのモード再生を繰り返します。
- CDモードでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音(REC)を行なうと設定は解除されます。
- MUSIC STOCKERモードの選曲モード(☞ D–7)がミュージックエスコートのとき、ランダム／スキャン再生はできません。

MUSIC STOCKERモード

ミュージックエスコート選択時

リピート再生のみとなります。

- SDモードの選曲モード(☞ F–6)でフォルダを選択している場合は、選択しているフォルダのランダム／スキャン再生となります。

音量を調整する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

1 [－ 音量 ＋]／[＋] [－](音量)を押す。

：画面に現在の音の大きさ(0～31)を示す音量表示が表示されます。
音量表示は約２秒間表示されます。
＋：音量を上げます。(大きくなります。)
－：音量を下げます。(小さくなります。)

※押しつづけて調整することもできます。

SDモード(例)

音量表示

アドバイス

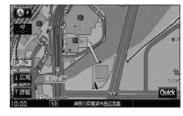
- ナビゲーションの音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。
  ☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)
  「音声案内の音量を調整／案内設定をする」F–27
- 音量は各モードで個別に設定できます。
  ※FMモード／AMモードの場合は、どちらかで設定した大きさとなります。
- [✱](オプション)に消音機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。
  ☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)「オプションボタンの設定をする」G–3

音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各モードの画面で、［現在地］を押す。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

① ［AV］を押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、［現在地］を押してください。

（例）

アドバイス

音量調整や［⏮ ⏭］／［⏮］［⏭］を使っての操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

音声はそのままで、画面を消す

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1 [⏻](AV電源)を２秒以上押す。

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

■ 再度、画面を表示する場合

① 画面をタッチする。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。

※ [⏻](AV電源)を押しても画面を表示させることができます。

アドバイス

[✱](オプション)に画面消し機能を設定している場合は、このボタンを押して画面表示のON／OFFをすることができます。

☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)G–3

映像の調整のしかた(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

明るさ／色の濃さ／コントラスト／色合いの調整やディスプレイ選択をすることができます。
※選択しているモードによって設定できる項目が異なります。
さらに走行中は調整できる項目が限られます。

アドバイス

- ディスプレイ選択はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、TVモードの場合はフル固定となります。
- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、CD／MP3／WMA／FM／AM／SD／MUSIC STOCKER／Bluetooth Audio／iPodの画面、DVD／VTR／TV／iPodビデオの画面で別々に調整することができます。

---

1 **［メニュー］を2秒以上押す。**

：画面右側に画面調整画面が表示されます。

アドバイス

［✱］(オプション)に画質調整機能を設定している場合は、このボタンを押して画面調整画面を表示させることができます。

☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)「オプションボタンの設定をする」G–3

---

2 **［画質調整］をタッチする。**

：画質調整画面が表示されます。

画面調整画面(例)

DVD／iPodビデオ／VTRモード画面の場合に表示されます。

☞「■ ディスプレイ選択の場合」A–21

---

3 **調整したい項目(［明るさ］／［コントラスト］／［色の濃さ］／［色合い］)をタッチする。**

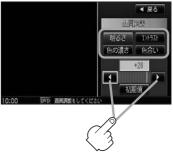
画質調整画面(例)

映像の調整のしかた(2)

4 ◀／▶をタッチして値を調整する。

画質調整画面(例)

アドバイス

調整はタッチパネルの ◀ または ▶ をタッチしつづけると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

■ 明るさ(1～31)調整の場合

◀ をタッチすると暗くなり、▶ をタッチすると明るくなる。

アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、各々、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、各々、お好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1～31)調整の場合

◀ をタッチすると黒さが増し、▶ をタッチすると白さが増す。

アドバイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は(＋側へ) ▶ ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

◀ をタッチすると淡くなり、▶ をタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

◀ をタッチすると赤が強くなり、▶ をタッチすると緑が強くなる。

アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

■ **ディスプレイ選択の場合** （DVD／iPodビデオ／VTRモード画面の場合）

手順 **1** （☞ A–19）で画面調整画面を表示する。
ノーマル／フル／ワイド／シネマの４つのタイプの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。

画面調整画面（例）

ノーマル	：４：３の映像の画面
フ　ル	：４：３の映像を左右に引き伸ばし、16：９にした画面
ワイド	："フル" の違和感を少なくした画面
シネマ	：４：３の映像をそのまま拡大した画面

アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- TVモードの場合はフル固定となります。

5 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

画質調整を初期値に戻す

手順 **3** 、**4** （☞ A–19）で調整した画質（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い）を設定する前の値（初期値）に戻すことができます。

1 画質調整画面で 初期値 をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面（例）

メニューの配色を変える

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

MENU画面のボタンや背景の色合いを変えることができます。

1 **メニュー を２秒以上押す。**

：画面右側に画面調整画面が表示されます。

2 **メニュー配色 をタッチする。**

：配色設定画面が表示されます。

※画面調整画面は、画面に映像を表示するモードの場合、ディスプレイを選択するボタンが追加されます。

「■ ディスプレイ選択の場合 」A-21

画面調整画面(例)

3 **お好みの配色(1 ／ 2 ／ 3)をタッチする。**

：3種類の配色パターンが選択できます。

配色設定画面

4 **設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。**

メニューの配色を初期値に戻す

手順 **3** (A-22)で変更した配色(1 ／ 2 ／ 3)を変更する前の値(初期値)に戻すことができます。

1 **配色設定画面で 初期値 をタッチする。**

：変更した配色が工場出荷時の値に戻ります。

配色設定画面(例)

フェード・バランスの調整をする(1)

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

低音、高音の調整や前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

BASS（バス）：低音域の調整　／　TREBLE（トレブル）：高音域の調整

BALANCE（バランス）：左または右スピーカーの音量調整　／　FADE（フェード）：前または後ろスピーカー音量調整

※AV電源OFFの場合、フェード・バランスの調整をすることはできません。

1 オーディオ画面で［メニュー］を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は［メニュー］を2回押します。

2 ［AUDIO設定］➡［フェードバランス］をタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。

アドバイス

AV MENU画面につきましては A–8を参照ください。

3 調整したい項目(BASS（バス）／TREBLE（トレブル）／BALANCE（バランス）／FADE（フェード）)の［－］／［＋］または［◀］／［▶］または［▼］／［▲］をタッチする。

※BALANCE（バランス）とFADE（フェード）の場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。

■ **BASS(－5〜＋5)調整の場合**

［－］をタッチすると低音が弱まり、［＋］をタッチすると低音が強まる。

■ **TREBLE(－5〜＋5)調整の場合**

［－］をタッチすると高音が弱まり、［＋］をタッチすると高音が強まる。

■ **BALANCE(左9〜右9)調整の場合**

［◀］をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
［▶］をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

■ **FADE(前9〜後9)調整の場合**

［▼］をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
［▲］をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

フェード・バランスの調整をする(2)

設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

フェード・バランス設定画面(例)

● センター をタッチするとBALANCE／FADEの値が0になり、ポイントが中心線上に戻ります。

● 調整時に − ／ ＋ ／ ◀ ／ ▶ ／ ▼ ／ ▲ をタッチし続けると、連続的に変化します。
● 車内イラストは音の設定位置をあらわすイメージ図です。

車速連動音量を設定する

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

車の走行速度によって、オーディオの音量を自動で調整します。

1 オーディオ画面で メニュー を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は メニュー を2回押します。

2 AUDIO設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

：車速連動音量設定画面が表示されます。

アドバイス

AV MENU画面につきましては ☞ A–8を参照ください。

3 設定したい音量ボタン
（ HIGH ／ MIDDLE ／ LOW ）をタッチする。

：車速(走行速度)に応じて音量変化は
- HIGH…大きい
- MIDDLE…HIGHとLOWの中間
- LOW…小さい

となります。

連動音量

AUDIO設定＞車速連動音量　戻る　HIGH　MIDDLE　LOW　OFF　音量　速度　10:00　車速連動音量を設定してください

連動音量を設定しない場合は OFF を選択します。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

音量変化量　大　なし　HIGH　MIDDLE　LOW　車速（走行速度）　遅　速

- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ(小さくし)ます。
  ※高速走行中など速度を上げているときに発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

- 車内イラストは音の出力を表すイメージ図です。
- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
  すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

本機で再生できるディスク

HS310D-A HS310-A
HS310D-W HS310-W

	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL

		MP3	WMA	CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※DVD VIDEO はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

> ⚠注意 すでにディスクが入っている場合に2枚目を挿入しようとすると、ディスクに傷がつき、故障の原因となります。

- **下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。**

・CD-G	・フォトCD	・CD-ROM	・Blu-ray
・CD-EXTRA	・VIDEO CD	・SACD	・HD DVD
・DVD-ROM	・DVD-RAM	・DVDオーディオ	・SVCD

- **DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。**
  - ・リージョン番号「2」が含まれていないディスク
  - ・無許諾のディスク(海賊版のディスク)
  - ・NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク
- **CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。**
  - ・データが記録されていないディスク
  - ・ディスクの記録状態/ディスク自体の状態が悪い場合
  - ・ディスクと本機の相性が悪い場合
  - ・CD-R/CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3/WMAは再生できます。)
  - ・ファイナライズされていないディスクは再生できません。

  ※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

  ※MP3/WMAにつきましては☞「MP3/WMAについて」B-8をご覧ください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

! 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

● DVDレコーダで作成したディスクについて

・DVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。☞ I-31、I-20

・デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。

☞「(DVD再生ディスク対応一覧表)」I-31

※DVD-R、DVD-R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。
DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

● 8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

● dts-CD(dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD)について

CDモードでは再生できます。MUSIC STOCKERモードでは正常に録音／再生できません。

● コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

● 特殊形状のディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

● Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMUSIC STOCKERに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

● Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。
詳細は、Gracenote® 社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

Gracenoteからの CDおよび音楽関連データ：Copyright©2000-2010 Gracenote. Gracenote Software：Copyright©2000-2010 Gracenote.この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の１つまたは複数を実践している可能性があります：＃5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください
:www.gracenote.com/corporate

アドバイス

「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenoteデータベースのご利用について

● **この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。**

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」)のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」)を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」)などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」)から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote**プライバシーポリシー**を参照してください。

Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2010